

平成 25 年度 学 力 検 査

C 社 会 (11 時 30 分～12 時 15 分, 45 分間)

問 題 用 紙

注 意

1. 「開始」の合図があるまで開いてはいけません。
2. 答えは、すべて解答用紙に書きなさい。
3. 問題は、 から までで、10 ページにわたって印刷してあります。
4. 「開始」の合図で、解答用紙の決められた欄に受検番号を書きなさい。
5. 問題を読むとき、声を出してはいけません。
6. 「終了」の合図で、すぐに筆記用具を置きなさい。

1 次の略地図を見て、あとの各問いに答えなさい。(9点)

(1) 略地図に示した関東地方に (略地図)

属する都県の数として最も適当なものはどれか、次のア～エから1つ選び、その記号を書きなさい。

- ア. 5 都県
- イ. 6 都県
- ウ. 7 都県
- エ. 8 都県

(2) 略地図に示した北海道地方について、次の(a), (b)の各問いに答えなさい。

(a) 次の資料1は、あきこさんが北海道について調べたものの一部である。資料1

の(X)にあてはまる民族の名称は何か、書きなさい。

〈資料1〉

- ・北海道という名称は、三重県出身の松浦武四郎が「北加伊道」と提案したことによる。
- ・武四郎が提案した「北加伊道」という名称は、この地の先住民である(X)民族を指す古い言葉が「カイ」であるという話を、天塩川を調査した際に地元の古老から聞いたことによる。

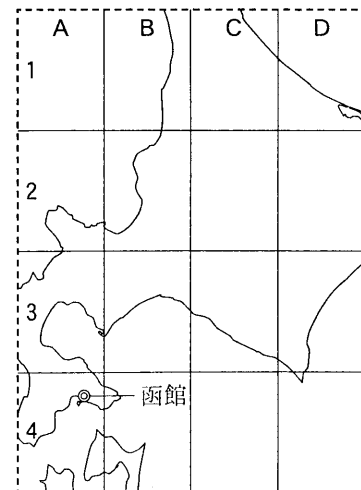
〔三重の文化 郷土の文化編〕, ほかから作成)

(b) 右の資料2は、略地図に で示した北緯41°~45°、東経140°~144°の地域について、緯線と経線をそれぞれ1°(1度)ずつ区切って示したものであり、下の資料3は、函館市と旭川市の市役所の緯度と経度をそれぞれ示したものである。資料2のA~D, 1~4を用いて、函館市の市役所◎の位置を『A 4』と示す場合、旭川市の市役所の位置はどのように示すか、書きなさい。

〈資料3〉

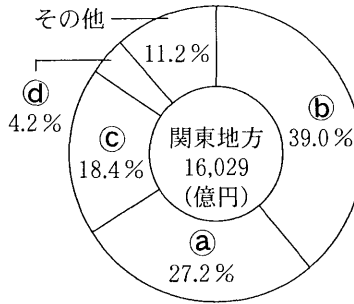
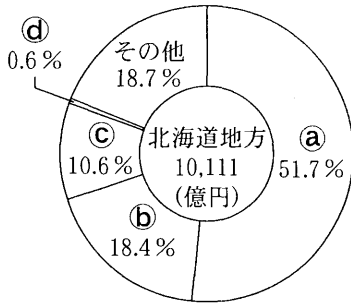
函館市……北緯41°46′(41度46分), 東経140°44′(140度44分)
旭川市……北緯43°46′(43度46分), 東経142°22′(142度22分)

〈資料2〉



- (3) 次の資料4は、略地図に示した北海道地方、関東地方の農業産出額の内訳であり、①～④は、米、野菜、畜産物、果実のいずれかを示したものである。このうち、①で示した農産物として最も適当なものはどれか、下のア～エから1つ選び、その記号を書きなさい。

〈資料4〉

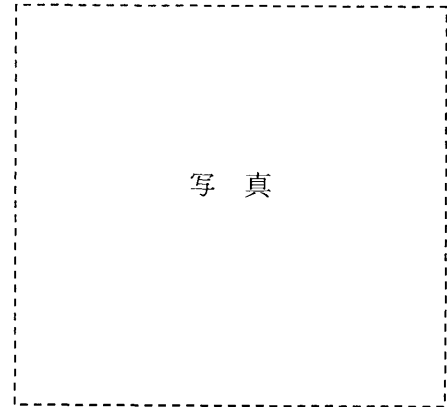


〔データでみる県勢 2012〕から作成

〔ア. 米 イ. 野菜 ウ. 畜産物 エ. 果実〕

- (4) 略地図に示した関東地方について、右の資料5は、東京都が自然災害による被害を軽減しようと、地下につくった施設の写真である。資料5に示した施設で、どのような自然災害による被害を軽減しようとしているか、資料5に示した施設の活用の仕方について、「川」という言葉を用いて、書きなさい。

〈資料5〉



〔注：資料5の施設は、延長4.5km、内径12.5mである。〕

- (5) 略地図に示した三重県について、次の資料6は、全国と三重県の産業別就業者数を示した表、資料7は、資料6を円グラフであらわす途中のものである。資料7に示した全国の産業別就業者割合の円グラフの例にならって、三重県の産業別就業者割合をあらわす円グラフを、完成させなさい。なお、計算した結果(%)は、小数第1位を四捨五入すること。(円グラフの作成には定規などを用いなくてもよい。)

〈資料6〉

	全国 (万人)	三重県 (万人)
第1次産業	245.6	3.7
第2次産業	1,413.1	27.0
第3次産業	4,170.7	56.7
合計	5,829.5	87.4

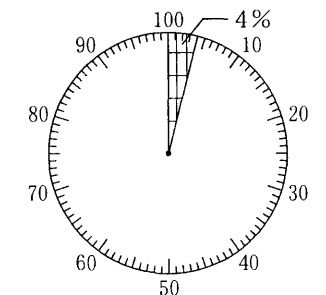
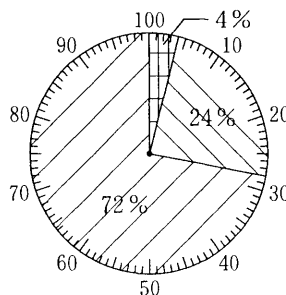
〔注：第3次産業には分類不能を含む。産業別就業者数について、四捨五入の関係から、必ずしも合計と一致しない。〕

〔「データでみる県勢 2012」, ほかから作成〕

〈資料7〉

【全国の産業別就業者割合】

【三重県の産業別就業者割合】



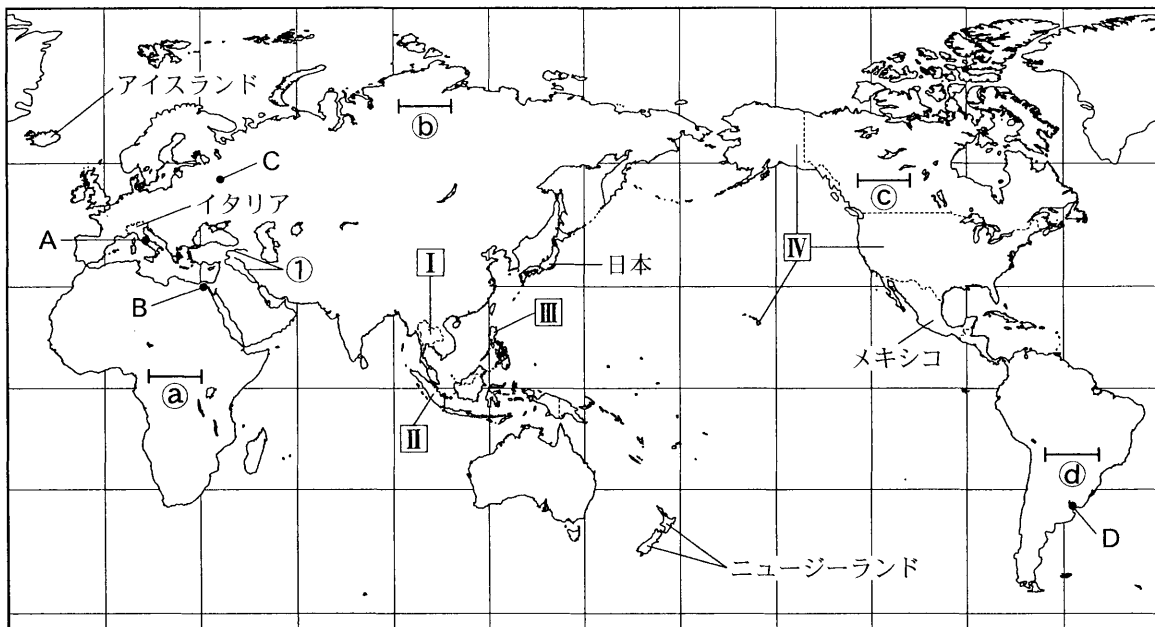
▨ 第1次産業 ▧ 第2次産業 ▩ 第3次産業

次のページへ→

2

緯線と経線が直角に交わった次の略地図を見て、あとの各問いに答えなさい。(9点)

〈略地図〉



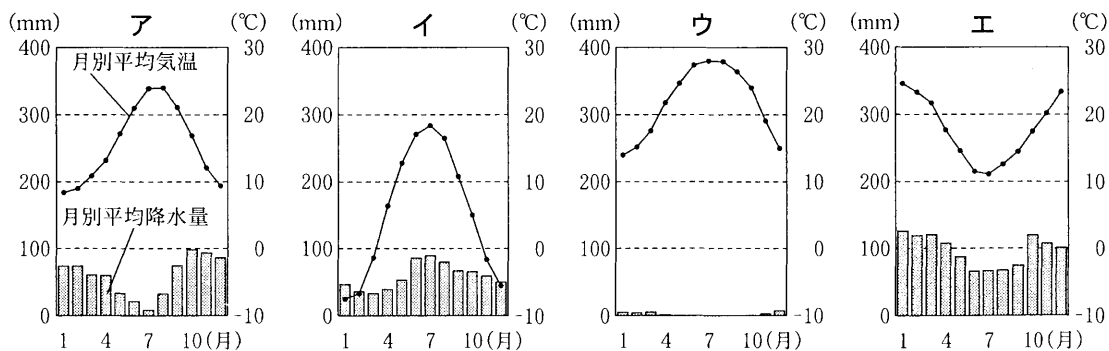
〔国境は一部省略。国境については、確定していないところもある。〕〔世界国勢図会 2012/13〕, ほかから作成

(1) 略地図に①で示した2つの川の流域^{りゅういき}に形成された古代文明について述べた文として最も適当なものはどれか、次のア～エから1つ選び、その記号を書きなさい。

- ア. 兵馬俑とよばれる、兵士や馬をかたどった等身大の土製の人形が作られた。
- イ. ハムラビ(ハンムラビ)法典とよばれる世界最古の法律が作られた。
- ウ. モヘンジョ＝ダロとよばれる、直線の道路や下水道を整備した都市が作られた。
- エ. 巨大な神殿やスフィンクス、王の墓といわれるピラミッドが作られた。

(2) 略地図に②～④で示した —|— は同じ長さであるが、実際の地球上での距離は異なっている。②～④で示した同じ長さの —|— のうち、実際の地球上での距離が最も長いものはどれか、②～④から1つ選び、その記号を書きなさい。

(3) 次のア～エのグラフは、それぞれ略地図にA～Dで示したいずれかの都市における、月別平均降水量と月別平均気温をあらわしたものである。略地図にAで示した都市の月別平均降水量と月別平均気温をあらわしているグラフとして最も適当なものはどれか、次のア～エから1つ選び、その記号を書きなさい。

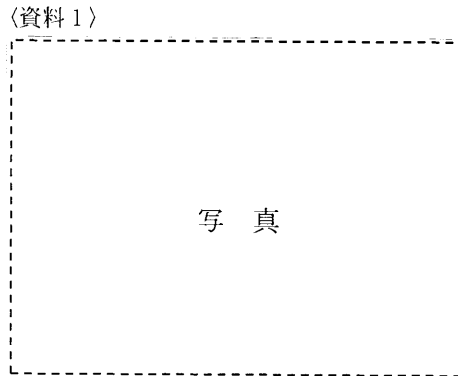


〔理科年表 平成21年〕から作成

(4) 略地図にⅠ～Ⅲで示した国について、次の(a), (b)の各問いに答えなさい。

(a) 右の資料1は、略地図にⅠで示した国で

とられた写真である。熱帯などの海岸や干潟に多く、日本では沖縄県で見られ、海水が多くても育つ種類の木が集まっている、資料1のような林を何というか、その名称を書きなさい。



(b) 右の資料2は、略地図にⅠ～Ⅲで示したそれぞれの国で信者の多い宗教について、まとめたものである。Ⅰ～Ⅲの国で信者の多い宗教の名称として最も適当なものはどれか、次のア～エからそれぞれ1つずつ選び、その記号を書きなさい。

〈資料2〉




Ⅰで示した国の94.6%の人が信仰している宗教は、インドでおこり、おもに東南アジアや東アジアに伝わった。
Ⅱで示した国の87.3%の人が信仰している宗教は、西アジアでおこり、北アフリカから東南アジアに至る広い地域に広がった。
Ⅲで示した国の91.1%の人が信仰している宗教は、おもにヨーロッパを中心に広まり、現在、世界中で20億人以上の信者がいる。

- ア. 仏教 イ. ヒンドゥー教
ウ. キリスト教 エ. イスラム教

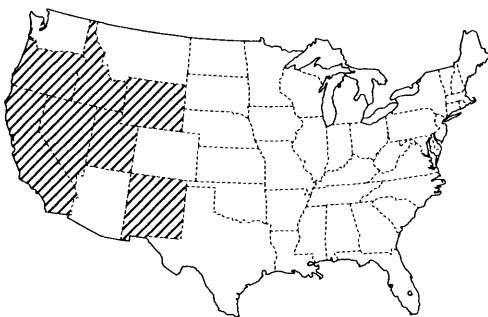
([中学校社会科地図]から作成)

(5) 略地図にⅣで示した国について、次の(a), (b)の各問いに答えなさい。

(a) Ⅳで示した国は、18世紀の後半に独立するまでヨーロッパにある国の植民地であった。この植民地の人々が独立を求めて戦ったヨーロッパの国はどこか、その国名を書きなさい。

(b) 次の資料3は、Ⅳで示した国の地熱発電所がある州を  で示したもので、資料4は、地熱発電量の国別割合の円グラフに、地熱発電に適している地理的な理由が同じ国を  で示したものである。Ⅳで示した国の地熱発電所のある州がかたよっているのはなぜか、その理由の1つとして考えられることを、資料4に  で示した国を通る、高くてけわしい山脈や列島のつらなりの名称にふれて、書きなさい。

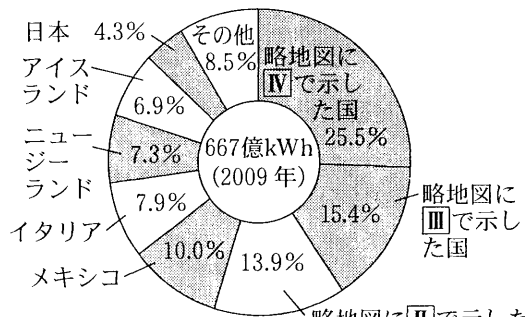
〈資料3〉




〔注：資料3は、略地図にⅣで示した国の一部である。〕

(資料3は、国際地熱協会Webページから作成)

〈資料4〉



略地図にⅡで示した国

〔注：「略地図にⅡで示した国」の一部の地域や「その他」に含まれる国にも  に属する国がある。地熱発電量の国別割合について、四捨五入の関係から、必ずしも合計は100%にならない。〕

(資料4は、「世界国勢図会2012/13」から作成)

次のページへ→

3 あすかさんの学級では、「日本と外国との交流や関係」というテーマで調べ学習を行い、その内容をカードにまとめた。これを見て、あとの各問いに答えなさい。(9点)

【A班】 1世紀中ごろ、倭の奴の国王が漢に使いを送り、皇帝から金印を授けられた。	【B班】 8世紀初め、唐の法律にならい大宝律令がつくられた。
【C班】 15世紀初めに琉球王国が成立すると、日本との貿易も盛んになった。	【D班】 16世紀中ごろ以降、南蛮人が平戸など九州各地に來航し、貿易を行った。
【E班】 19世紀初めに流行した浮世絵は、のちにヨーロッパの画家に影響をあたえた。	【F班】 19世紀中ごろ、江戸を訪れた外国人が、江戸の清潔さにおどろいた。

(1) A班の調べた内容について、倭の奴の国王が漢に使いを送ったころの日本のようすを述べた文として最も適当なものはどれか、次のア～エから1つ選び、その記号を書きなさい。

- ア. 木の実などの採集や狩りを行って生活し、縄目の文様がついた土器が使用されていた。
 イ. 稲作が広まり本格的な農耕生活が行われ、青銅器や鉄器などの金属器が伝わってきた。
 ウ. 大和(奈良県)地域に大和王権が生まれ、前方後円墳といわれる墓がつくられた。
 エ. 仏教の力にたよって国家を守ろうと、大仏をまつる東大寺が奈良につくられた。

(2) B班の調べた内容について、右の資料1は、律

令制のもとで、駿河国と安芸国の農民が、役人に率いられて、国から都に行くまでに要する日数と、都から国に帰るまでに要する日数をそれぞれ示したものである。資料1に示した、都に行くまでに要する日数が、国に帰るまでに要する日数より多く定められているのはなぜか、その理由の1つとして考えられることを、律令制のもとで当時の農民に課せられた負担にふれて、書きなさい。

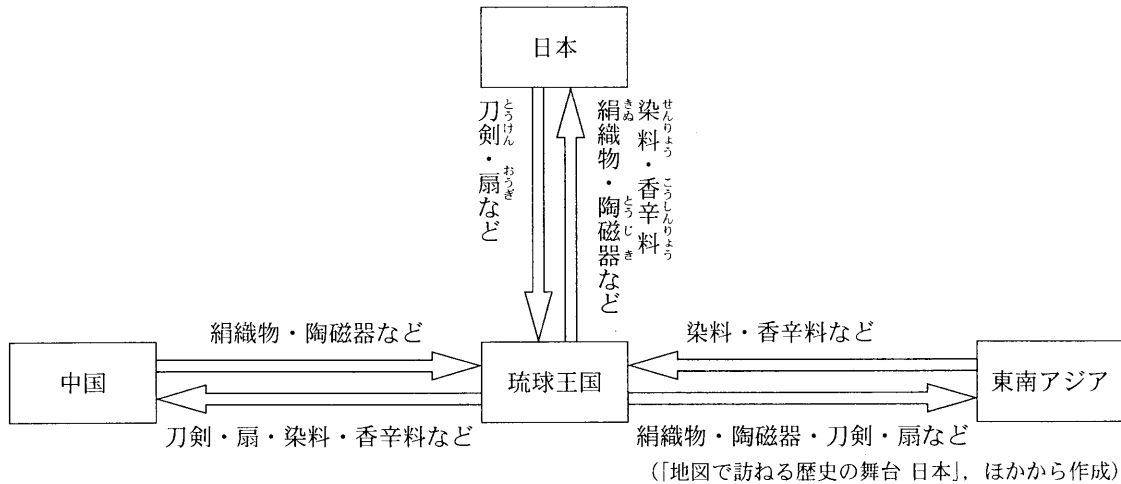
〈資料1〉

	駿河国	安芸国
国から都に行くまでに要する日数	18日	14日
都から国に帰るまでに要する日数	9日	7日

〔注：駿河国、安芸国は、それぞれ現在の静岡県、広島県の一部である。〔延喜式〕、ほかから作成〕

- (3) C班の調べた内容について、次の資料2は、東アジアや東南アジアの各地で琉球の人々が行った貿易による、ものの流れについてまとめたものである。このようなものの流れ方をする貿易の形態を何というか、書きなさい。

〈資料2〉



- (4) D班の調べた内容について、調べ学習をすすめる中で、戦国時代から江戸時代にかけて南蛮人との貿易やキリスト教に対する政策は変化していったことがわかった。このうち、豊臣秀吉が全国統一を完成したときの南蛮人との貿易やキリスト教に対する政策について述べた文として最も適当なものはどれか、次のア～エから1つ選び、その記号を書きなさい。

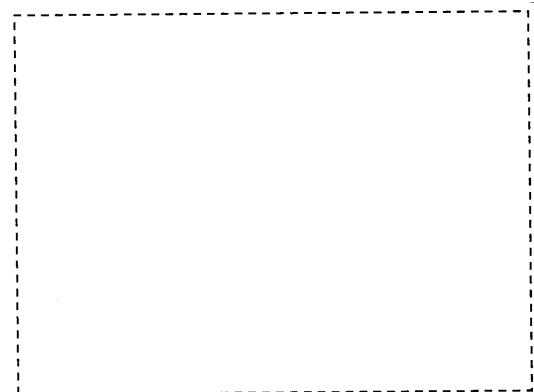
- ア. 南蛮人の来航を禁止するいっぽうで、キリスト教を保護していた。
 イ. 南蛮人の来航を禁止するとともに、キリスト教の布教も禁止していた。
 ウ. 南蛮貿易をすすめるいっぽうで、キリスト教の布教を禁止していた。
 エ. 南蛮貿易をすすめるとともに、キリスト教を保護していた。

- (5) E班の調べた内容について、代表的な浮世絵師の一人で、江戸から京都までの風景をえがいた「東海道五十三次」を完成させた人物はだれか、最も適当なものを次のア～エから1つ選び、その記号を書きなさい。

- ア. 歌川(安藤)広重 イ. 狩野永徳 ウ. 尾形光琳 エ. 喜多川歌麿

- (6) F班の調べた内容について、江戸の町のように、し尿などの排泄物を馬で集めに来た農民を示した、右の資料3を見つけた。農民が、し尿などの排泄物を集めに行ったのはなぜか、その理由の1つとして考えられることを、書きなさい。

〈資料3〉



次のページへ→

4

次の文は、たかしさんが、近代以降の歴史的分野の学習で、関心を持った内容をノートにまとめたものの一部である。これを見て、あとの各問いに答えなさい。(9点)

【明治政府の近代化政策】

明治政府は、中央集権①国家の基礎をつくり、学制、兵制、税制②の改革など富国強兵政策を行った。

【近代産業の発展と公害の発生】

製銅業の拠点の一つであった足尾銅山③から、鉱毒が渡良瀬川に流れ、被害が広がった。

【日露戦争と国民のくらし】

長期化した日露戦争は、両国とも継続困難になり、アメリカの仲介④でポーツマス条約が結ばれた。

【国際連盟の脱退】

国際連盟を脱退した日本は、国際的な孤立を深め、ファシズム諸国に接近していった。

⑤【冷たい戦争(冷戦)】

西側陣営のアメリカと東側陣営のソ連は、軍事的優位に立とうと、兵器の開発競争を始めた。

- (1) 下線部①について、政府が全国を直接治める中央集権国家をつくりあげるために行った版籍奉還①について述べた文として最も適当なものはどれか、次のア～エから1つ選び、その記号を書きなさい。

- ア. 中央から府知事・県令を派遣して治めさせた。
イ. 中央から国司を派遣して治めさせた。
ウ. 諸大名から領地と領民を天皇に返させた。
エ. 将軍から政権を天皇に返した。

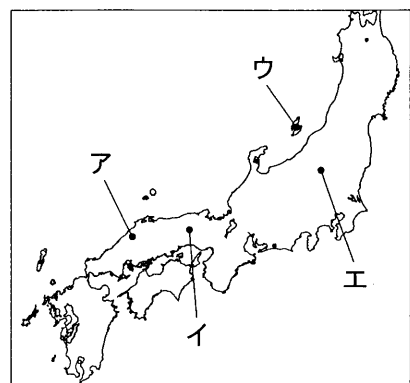
- (2) 下線部②について、右の資料1は、政府が収入を安定させ、財政の基礎を固めるために、1873年から実施した改革の内容を示したものである。資料1に示した改革を何と
いうか、書きなさい。

〈資料1〉

- ・土地の所有者と価格(地価)を定め、地券を発行する。
- ・課税の基準を収穫高から地価に変更する。
- ・税率は地価の3%とし、土地の所有者が現金でおさめる。

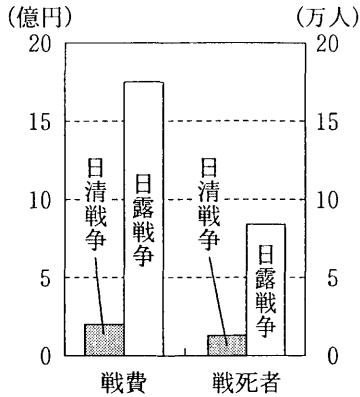
- (3) 下線部③について、衆議院議員の田中正造は、農民とともに、足尾銅山の操業停止と被災民救済を訴えた。鉱毒による被害をひきおこした足尾銅山を示した場所として最も適当なものはどれか、略地図に示したア～エから1つ選び、その記号を書きなさい。

〈略地図〉



(4) 下線部④について、次の資料2は、日清戦争と日露戦争における日本の戦費と戦死者数を、資料3は、下関条約とポーツマス条約のおもな内容を示したものである。日露戦争後、東京などで暴動をとまなう民衆運動がおこったのはなぜか、その理由の1つとして考えられることを、資料2、資料3から読み取れることをもとにして、書きなさい。

(資料2)



(「国史大辞典」, ほかから作成)

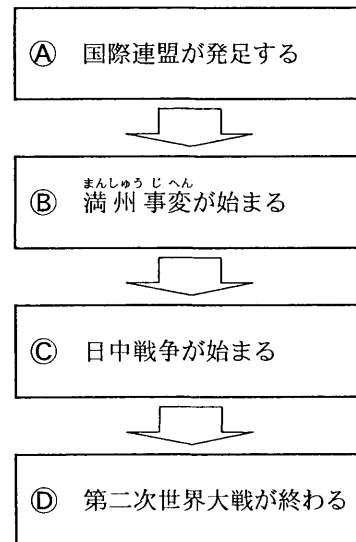
(資料3)

【下関条約】
 ○清は、朝鮮の独立を認める。
 ○清は、遼東半島・台湾などを日本にゆずる。
 ○清は、賠償金2億両(約3億1000万円)を日本に支払う。
 【ポーツマス条約】
 ○ロシアは、韓国における日本の優越権を認める。
 ○ロシアは、旅順・大連の租借権を日本にゆずる。
 ○ロシアは、北緯50度以南の樺太を日本にゆずる。

(5) 下線部⑤について、たかしさんは、国際連盟が発足してから第二次世界大戦が終わるまでのおもなできごとを、4枚のカードにまとめ、書かれた内容の古いものから順に右のように④、③、②、①と記し、並べた。次のカードを新たに作成し並べるとき、どこに入れば古いものから順になるか、最も適当なものを下のア～エから1つ選び、その記号を書きなさい。

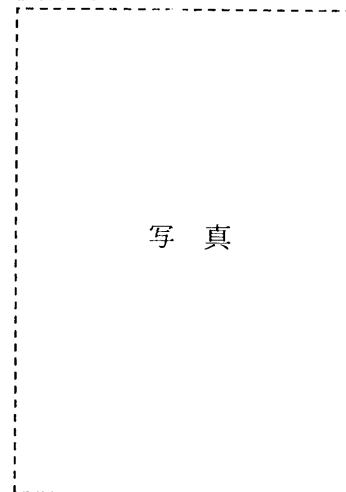
日本が国際連盟を脱退する

- ア. ④と③のカードの間 イ. ②と①のカードの間
 ウ. ①と④のカードの間 エ. ④のカードより後



(6) 下線部⑥について、右の資料4は、兵器の開発が進められる中で、1954年に被害を受け、のちに、東京に保存、展示された、まぐろ漁船(第五福竜丸)の写真である。この船が保存、展示されたのは、どのようなことを多くの人々に伝えるためと考えられるか、この船が1954年に受けた被害にふれて、書きなさい。

(資料4)



次のページへ→

5 右の表は、ともやさんの学級で行った公民的分野の調べ学習について、班ごとのテーマをまとめたものである。これを見て、あとの各問いに答えなさい。(14点)

班	テーマ
A班	国民の代表を選ぶ選挙
B班	日本銀行による景気対策
C班	日本政府の国際貢献
D班	人権尊重の国際的広がり
E班	地方自治のしくみ
F班	国の収入を支える税
G班	マスメディアの活用

(1) A班のテーマについて、次の(a), (b)の各問いに答えなさい。

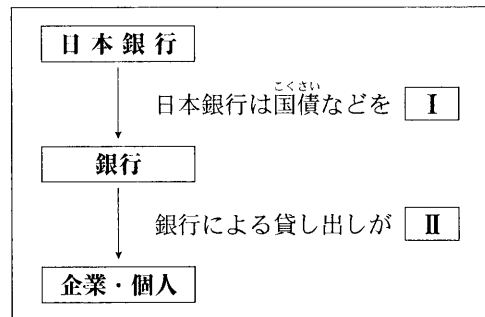
(a) 参議院議員の選挙について述べた文として最も適当なものはどれか、次のア～エから1つ選び、その記号を書きなさい。

- ア. 選挙権は満20歳以上、被選挙権は満25歳以上のすべての国民に認められる。
 イ. 議員の任期は4年であるが、任期満了前に終了し、選挙が行われる場合がある。
 ウ. 定数は480人で、300議席が小選挙区制で選ばれ、180議席が比例代表制で選ばれる。
 エ. 都道府県を単位とした選挙区制と、全国を1つの単位とした比例代表制で行われる。

(b) 政治家個人へ企業などからの資金提供が制限されているかわりに、選挙などにも使える資金として、申請した政党に対して得票や議席に応じて国から提供される資金を何というか、その名称を書きなさい。

(2) B班のテーマについて、右の資料1は、景気が悪く(資料1)

いときの公開市場操作における資金の流れについて示したものである。資料1のⅠ, Ⅱにあてはまる言葉の組み合わせとして最も適当なものを、次のア～エから1つ選び、その記号を書きなさい。



- ア. Ⅰ 売る Ⅱ 増える
 イ. Ⅰ 買う Ⅱ 増える
 ウ. Ⅰ 売る Ⅱ 減る
 エ. Ⅰ 買う Ⅱ 減る

(3) C班のテーマについて、政府が発展途上国を中心に経済や福祉の向上のために、さまざまな技術の協力や資金の援助をする「政府開発援助」の略称として最も適当なものはどれか、次のア～エから1つ選び、その記号を書きなさい。

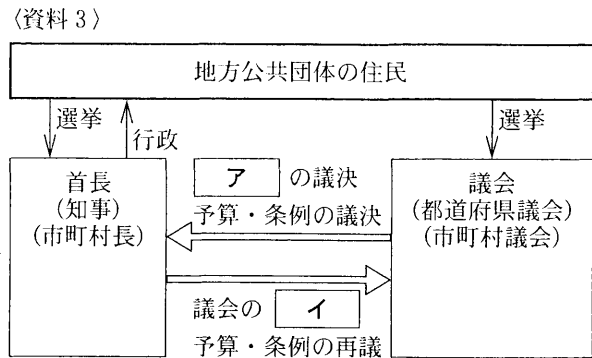
[ア. ODA イ. WHO ウ. PKO エ. NPO]

(4) D班のテーマについて、右の資料2 (資料2)

は、1989年に国際連合で採択された条約のおもな内容を示したものである。日本が1994年に批准した資料2の条約を何というか、書きなさい。

- ・防げる病気などで命を失わないこと。
- ・教育を受け、休んだり遊んだりできること。
- ・あらゆる種類の虐待や搾取などから守られること。
- ・自由に意見を表したり、集まってグループをつくったり、自由な活動を行ったりできること。

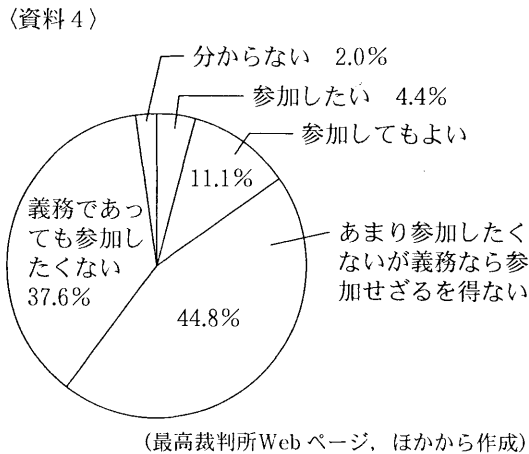
(5) E班のテーマについて、右の資料3は、地方自治のしくみの一部を示したものである。資料3の ← → は、首長と議会の^{よくせい きんこう}抑制と均衡をはかるはたらきを示している。資料3の [ア]、[イ] にあてはまる最も適当な言葉は何か、それぞれ書きなさい。



(6) F班のテーマについて、国の収入は、原則的に家計や企業が国に納める国税で支えられている。国に納める所得税、消費税などの国税について述べた文として最も適当なものはどれか、次のア～エから1つ選び、その記号を書きなさい。

- ア. 所得税は、所得に関わらず同じ税率で税金を納める。
- イ. 所得税は、税を負担する人と税を納める人が同じである。
- ウ. 消費税は、高所得者ほど所得に占める税負担の割合が高くなる傾向がある。
- エ. 消費税などの間接税は、所得税などの直接税よりも国の収入に占める割合が高い。

(7) G班のテーマについて、次の資料4は、2008年に行われた「裁判員制度に関する意識調査」の結果を示したもので、資料5は、2008年に行われた「裁判員制度に関する意識調査」の結果について、P新聞とQ新聞の新聞記事の見出しを示したものである。資料4、資料5を見て、あとの(a)、(b)の各問いに答えなさい。



〈資料5〉

P新聞

裁判員制度

「参加したくない」8割

最高裁判所調査

責任重く不安

〔2008年4月2日〕

Q新聞

「参加」全体では6割

〔2008年4月2日〕

- (a) 資料4をもとにしたP新聞とQ新聞の新聞記事の見出しが、資料5に示したように異なっている。P新聞社とQ新聞社のうち、P新聞社は資料4をどのように判断して見出しを書いたと考えられるか、資料4から読み取り、書きなさい。
- (b) テレビ、ラジオ、新聞、インターネットなどから情報を受け取るとき、わたしたちにはどのようなことが求められるか、その1つとして考えられることを、資料4、資料5から読み取れることをもとにして、「わたしたちには、」で始め、「することが求められる。」で終わる文を、書きなさい。

—おわり—